



可愛い天使の作り方  
どっかーん

池田智子





可愛い天使の作り方 どっかーん

【特別収納】・オンデマンド出版って何？

## はじめに

赤ちゃんを作るのはHをすればOKと思っているあなた。それは甘い！ たったそれだけでは可愛い子供を作る事はできません。では、どうしたら……

私には「みき」と言う可愛い娘が居ます。現在五歳！ 大きくなりました。この本に納められたお話は、

可愛い天使の作り方 どかーん

・ 出産までの数ヶ月を追ったお話です。

可愛い天使の作り方 そして、やってきた赤ちゃん

・ 出産後一ヶ月までを追ったお話です。

となっています。

初めてママになる方、パパになる方、そして子供好きな方等々に赤ちゃん学の入門書として読んでいただけたらな  
と思います。話の節々に登場して来る娘のトンチンカンな行動は、おそらくあなたに一時の幸せと笑いを与えてく  
れると思います。

笑えて為になる子育て系話。どうぞ最後までお楽しみ下さい！

# 目次

プロローグ	六
まず太る	十
やっぱり成功	十三
検診	十六
貧血との闘い	二十一
安定期	二十四
妊婦女王様	二十八
妊婦の試練	三十三
出産直前になって	三十六
里帰り出産で	三十九
出産の時	四十一
そして	五十
【特別収納】 オンデマンド出版って何？	五十五

## フロローク

「ソロソロ二人目を作るつか」

そんな話が出たのは半年ほど前の事だった。決して手作りでデディベアを作っている訳では無い。作るうとしているのは、そう二人目の子供。赤ちゃんなのである。

「ソロソロですかねえ」

現在上の娘は四歳。二人目を作るうと考えるには遅すぎる時期ではあった。例えば年子で子供を作ったとしても。そうした場合は「手間が一度で済むから楽よね」という評価を頂く事が多いらしい。二年離して作ると「幼稚園の時期が重ならなくていいわよね」と言われる。三年離して作ると……以外と評価が悪く「赤ちゃん返りして大変な時期」「オムツをしている人間が二人になってしまい大変」などと言われる。「恐怖の三歳児」と言つ言葉がある位でこの時期の上の子供は言葉の上だけでなく心理面でも変化を生じる時期であり大変のようだ。実際思い出してみるとその当時の娘は何に関して「イヤイヤ」病を併発させ、言つ事を全く聞かなかつた事があつた。しかし四歳の現在は精神的にもかなり安定しお話も大分上手になってきた。

それが大きく離れて四年目に二人目となると評価が違う。大概上の子のオムツは取れているし、下の子が年少の時期上の子は小学生である。お金がかかる時期が丁度ずれるだけでなく、手もかなり離れているので、「一番いい時期ね」と言われる。我が家の場合は母親である私が次の子供を作る気になるまで最初の出産から四年かかってしまっただけの事なのだが、回りの人間はどう考えているのか実際いい年だけに気になる部分ではある。と言つたら「今時三十

歳では間違っても遅すぎるって事は無いわよ」と言われた。

「私も今年で三十歳だからね。いい年な訳だよ。挑戦するなら今年だと思ってさ」  
「おばさんへの仲間入りだね」

勢いで作った上の子と違い、今回は気持ち的にかなり余裕がある。旦那と話し合った結果製作時期と完成時期が決定した。前回三月に産んで季節的にも体調的にも良かった為今回も完成時期は三月中。と逆算すると六月辺りに仕込めば丁度予定通りに生産が完了する事となる。

子供は十月十日で生まれる。と言う事を知っている人は多いが実際はそれより短い期間で生まれる事を知っている人は意外と少ない物だ。妊娠期間の換算は四週を一ヶ月として換算する。これは生理の周期、つまり十ヶ月四十週換算で出産予定日を計算するのである。生理の周期が短い人は出産予定日の産出方法も違ってくるのだが、普通病院ではそこまで計算はしない。

子供は一体どうやって作れば良いのだろう。古典的な言い方をすれば、つまりはオシベとメシベが結合すれば良いのだろうが、ある実験によると普通の夫婦が結婚して三年目と一年目の精子の量を比べてみると何と半分以下になってしまっているそうである。母体を妊娠させるには精子の量は多すぎても少なすぎてもいけない。更に言うとも母体の方も年齢を重ねる度に排卵数が減ってくる。つまりは生理が来ていても排卵されていない可能性が高いのだ。二十台前後の出産に一番適している時で確率は約六十%。現在三十歳と言う事は少なくとも二回以下以下の着床率であるという事である。又我が家は結婚して既に五年以上経過している為妊娠する可能性は新婚家庭に比べかなり低いと言わざるを得ないのだ。

「でも今は三十歳でも高齢出産とは言わないんだよ。見た事は無いけど、三十五歳からが母子手帳に「まる高」って判子が押されるんだってさ」

「ギリギリ間に合ったと」

「やっぱり二十五、六歳の元気な内に卵子を取っておけばよかった！」

今まで聖域とされていた人間の繁殖に関する技術も日進月歩であり、二〇〇二年に入ってこれまでのように精子を冷凍保存する技術のほかに日本においてもそうした「卵子を冷凍保存」するサービスが実施されるようになった。アメリカにおいては既に「卵子バンク」なる物が存在する。現在日本においては不妊カップルに限定されてこうした卵子の保存が行われているそうだが、やはり若い卵子と古い？ 卵子ではどこが違うのかは詳細不明だが違う部分がありあるそうなのである。

一ヶ月毎日赤ん坊創作活動に明け暮れても出来ない可能性がある。以上の確率から結論を導き出すと、おそらく今の私は三カ月一度は排卵されているハズである。と言う事は四月から作り始めて六月迄すれば、出来る可能性が一番高いという事である。成る程成る程。大分予定が立ち始めてきた。

卵子の心配だけでなく、相方の精子の方はどうだろうかと調べてみる。一日で死亡してしまう卵子に比べ、精子は説によって一週間とも三日間とも幅があるが、かなりの長期間生き続ける事が可能だそうだ。また一日に何度もする事は子作りという観点から考えると有効では無い。何故なら回数が重なるにつれて精子の量は半分・半分と減って行ってしまうからである。週に一〜二度すればこちらも当たる可能性が高い事になる。無論これは環境ホルモンの影響により旦那の精子の数が減っていないければの話であるが。



親の気持ちは固まった。では次に娘の気持ちはどうだろう。

場合によっては「一人っ子がいい」と言うのかもしれない。私は一応作成に入る前に確認を取る事にした。今まで一度だって「兄弟が欲しい」と娘が言った事は無い。一体どんな反応を示すのだろうか。

「あのね、みきちゃん。もし赤ちゃんが家に来たらどうする？」  
「赤ちゃん？」

夕食が終った後、一番ノンビリした時間に面と向かって二人で話をする。女同士の話である。とたん娘の目が輝きだした。

「家にもついでに来るの！ 本当に？」

「いやまだ分らないんだけどさ、そしたらみきたん厭かなと思って」

「厭じゃないよ。赤ちゃんてどうやって来るの？」

「みきたんとパパとママが「赤ちゃん欲しいな」と思った時に「ウノトリさんがママのお腹に持ってきてくれるのよ。パパとママは欲しいなと思ったんだけどどう？」

「欲しい！」

明日にでも赤ちゃんが来るんじゃないかという勢いである。それからお風呂に入っても、布団に入っても「何時来るの」「何時来るの」が止まらない。話によると今まで口には出さなかった物の、近所の友達には皆兄弟が居るのに自分には居ないと言つ事が一つ気になってきたよつなのである。「みきがかわいがってあげるから、だいじょうぶだよ」と小さな胸を張る。顔は終始笑顔で嬉しそうである。

「赤ちゃん生まれたらプリン半分こにして食べないといけないかもしれないけど、大丈夫なの？」  
「そうしたら、もう一個コンビニから買ってきてあげるから大丈夫」

一部トンチンカンさは拭えないが、下準備・調査は完了。別段予定表を作成し貼り出した訳では無いがプロジェクトは予定通り、四月より実行された。がここで大きな誤算を生む事は私を含め夫婦共々想像だにしない事であった。

まず大る

緊急排卵と言う言葉がある。

おそらくは良い遺伝子の子孫に取り込む為なのだろうが、母体が驚く？と予定外に排卵を行ってしまう事がある。これが緊急排卵であり、一説によると上の娘もこれで生まれた可能性が高い。その日私は相当舞い上がっていた。誕生日プレゼントにと普段買わないようなブランド物の洋服を上から下まで旦那に買ってもらったのだ。買い物後は旦那の奢りでイタリアンレストランで食事。色とりどりのカクテルを傾けながらうっとりとする雰囲気。年に一度いいからこんな日があると人生楽しいだろうなあ。としみじみ喜んでしまったあの日、気持ちの上だけでなく体もすっかり感じてしまったのである。

「っわあああ」

子作りを始めて数日後どうも下半身に肉付きが良くなったなと思いついて体重計に乗ってびっくり！何と二キロも体重が増えていたのである。ここ何週間か体調不良が続いて居て、ダイエットできなかった事もあり体重は眼を疑うような恐ろしい数値を叩きだしていた。

基本的に私と娘は一日における体重変化が少ない。旦那は朝と夜で五キロの差があると豪語していたが、私と娘は元々あまり食べないのがその理由である。体重計に乗らなくても体重が増えれば体型に変化が生じるので大概分る。